



国立公園満喫プロジェクト等推進事業

平成31年度概算要求額 15,670百万円の内数

背景 ・目的

政府の新たな観光戦略である「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月）を受け、国立公園を、世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化すべく重点的な整備を行うことにより、2020年までに訪日外国人国立公園利用者数1,000万人（現状490万人）を目指すため、「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは8箇所の国立公園毎に立ち上げた地域協議会で策定する「国立公園ステップアッププログラム2020」に基づき、保護すべきところは保護しつつも、利用の大幅な拡大を図るための取組を推進する。

事業 概要

インバウンド振興のため、各国立公園へのより具体的な誘客に向けたモデルコース等の設定等を行うとともに、コンテンツと旅行会社・OTA等とのマッチングの取組や海外への情報発信を強化することで、国立公園のブランドイメージの定着化を図る。また、ビジターセンター、キャンプ場、休憩場所（カフェ、ベンチ）等の再整備、公園施設の長寿命化対策等を実施し、国立公園利用者へ安全で快適な利用環境を提供する。

これまでの取組

明日の日本を支える観光ビジョン

平成28年3月策定

国立公園満喫プロジェクト開始！

平成28年4月

目標

490万人(2015(平成27)年)
1000万人(2020(平成32)年)

基本的 考え方

「最大の魅力は自然そのもの」
サービスの高品質化・高付加価値化

先行的な8公園を選定し、取組を実施

3公園に取り組みを展開中

・自然の観光資源としての活用

- 自然を満喫するアクティビティ、モデルコースの開発



- 自然ガイドの養成



・情報発信

- 観光庁、JNTO、外務省と連携
- ターゲットの指向に合わせたプロモーション



- ツーリズムEXPOでの発信



・利便性向上のための環境整備

- ビジターセンター、休憩所（カフェ、ベンチ）等の再整備
- 景観改善、多言語化対応、ICT活用標識整備等の実施



- 休憩所外観 内観



・エコツーリズム地域活性化支援事業（交付金）

国立公園等において、自然観光資源を活用した地域活性化を推進するため、魅力あるプログラムの開発、ガイド等の人材育成などの地域のエコツーリズムの活動を支援する。